

19 当時の衿仕立には四つ縫が行われていたようで、上杉家伝来の服飾類中にも、謙信所用と伝えられているものに浅葱袖裏紅練緯衿小袖(10)(美術研究二二八号二七頁参照)、浅葱綾竹雀紋繡・襟摺箔描絵胴服(5)(美術研究二四三号三三頁参照)、はぐま毛陣羽織(2)(美術研究二五九号二二頁参照)、緋雲文緞子陣羽織(3)(美術研究二五九号二二頁参照)、白雲文緞子陣羽織(4)(美術研究二五九号二三頁参照)等が、直江兼統所用と伝えられる浅葱緞子衿胴服(美術研究二四四号四一頁―註51―参照)に四つ縫の方法が見られる。

美術研究所報

第八回美術部公開學術講座

昭和四十八年十月二十七日、日本經濟新聞社九階小ホールにおいて左記の通り行った。

藤原時代の彫刻

明治宮殿杉戸絵について

猪川 和子
関 千代

東京国立文化財研究所開所記念講演會

昭和四十八年十一月十七日、国立西洋美術館講堂において、舞樂に関する講演と映画の會を三部合同で左記の通りに行った。

舞樂面とその遺品

舞樂装束とその遺品

舞樂の樂曲構成

映画「雅樂」

修復技術部

美術部

芸能部

西川 杏太郎

田実 栄子

横道 万里雄

美術部研究員海外出張

久野健は昭和四十八年十月一日より十一月三十日まで、文部省在外研究員として、在外日本及び東洋彫刻の調査研究のため、アメリカ合衆国、連合王国、フランス、イタリア、ギリシャ、インド、タイへ出張した。

研究会

昭和四十九年

三月六日 オランダ所在の川原慶賀の作品について 陰里 鉄郎

図版要項

一 紺麻地環繫ぎ矢車文鍔下着(原色刷)

二 同 部分

三 a 同 背面

丈 六六cm 桁 四二・五cm 袖幅 一八cm 袖丈 二六・五cm

b 紅縮緬鍔下着 背面 山形上杉神社蔵

丈 六四cm 桁 四一・五cm 袖幅 一七cm 袖丈 三〇cm

一―三 神谷榮子「上杉家伝来鍔下着・着込み・頭巾等四領二個」参照

四 菩薩半跏像 斜左側面 長野観松院蔵

像高 三〇cm

五 誕生仏像 斜左側面 愛知正眼寺蔵

像高 八・三cm

六 薬師三尊像 正面 石川葉師寺蔵

薬師像高 一九cm 左脇侍像高 一六・六cm 右脇侍像高 一六・八cm

七 観音菩薩立像 正面 長野丸山茂氏他四氏共有

像高 二九・七cm 台座高八・〇cm

八 半跏思惟像 斜左側面 福井正林庵蔵

總高 三三cm

九 菩薩立像 正面 長野長福寺蔵

像高 三四・一cm

四一九 久野健「中部地方の古代銅像」参照